

# 事業検証シート

基本目標	環境	ゆとりと潤いあふれる暮らしを実感できるまち		
施策名	ごみ処理の適正化			
基本事業名	ごみの減量化、資源化と再利用の推進			
事業名	資源再生利用の推進	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
目的	ごみの発生抑制、再利用及び再生利用を推進し、循環型社会の形成に努める。			
手段	「第3次十和田市ごみ減量行動計画」に基づき、市民意識の向上を図るとともに、不要となった衣類や小型家電の回収、リサイクルを実施することにより、ごみの減量、資源化と再利用を推進する。			
事業開始年度	平成17	年度	事業終了年度	年度
成果指標	現状値の推移			目標値
	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
資源集団回収の換算重量	518,156 kg/年	461,979 kg/年	436,840 kg/年	813,558 kg/年
	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
事業費 (単位：千円)	1,588	1,424	1,336	1,995
備考				
事業実績	実施内容			
	令和元年度における資源集団回収量は、平成30年度と比較して、約5.4%の減となっている。			
	事業実績 ・ごみ総排出量 22,264.50t ・1人1日当たりのごみ排出量 986g (H30実績) ・リサイクル率 21.7% (H30実績) ・使用済小型家電回収量 1,890kg ・衣類等回収量 14,149kg ・ごみや資源回収などの啓発活動 毎月広報紙に掲載 ・ふるさと出前きらめき講座 1回 ・廃棄物減量等推進員の委嘱 292人 (全町内会長) ・小型充電式電池回収 4.06kg ・幼児向けリサイクル教室 23園992名			
	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
			*	*
事業評価	集団回収のメリットを強調するチラシの配布など、より多くの団体が集団回収事業に参加しやすい環境を検討しながら継続して実施した。			
達成状況	<input type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> おおむね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった <input type="checkbox"/> その他			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化を図る <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を改善して継続 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合を図る <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了			
上記理由	個人単位で資源回収を行う店頭回収の普及により、町内会やPTAなどで実施する集団回収が伸び悩んでいる。			
今後の改善内容	①現在、県が主体となり広域的な資源回収の取組みを計画していることから、県と連携を図りながら、市の取組みも継続していく。 ②「第3次十和田市ごみ減量行動計画」の取組み結果を踏まえ、令和2年度に「第4次十和田市ごみ減量行動計画」を策定予定。			